



医療がわかりづらい理由、その1 多様な関係者が連携してはじめて、医療が提供される。



一般的なサービス

利用者・消費者



財・サービス

販売者・提供者



お金



市場は「交換の場」

医療制度

政府
(厚労省等) = 医療の値段や
メニューを決める



保険者等



保険料

保険証

患者・利用者



お金 (7割給付分)
レセプト (請求書)



病院・診療所



医療従事者



医療サービス
お金 (3割自己負担)



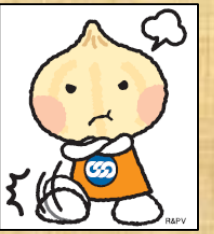
市場のやり取りに
第三者が介在する

日本労働組合総連合会
教えて！医療の摩訶不思議！診療明細書って、なんだろう？





医療がわかりづらい理由、その2 透明性や分析が十分でなかった！



医学



看護学



薬学



法学



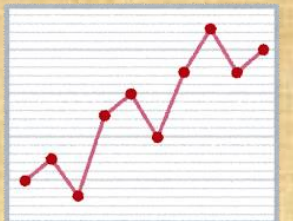
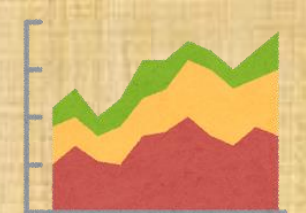
などなど

医療を支える学問



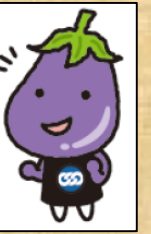
分析・評価

経済学





医療がわかりづらい理由、その3 よくわからないから、医師におまかせ！



私は、この治療格差の意味は2つあると考えています。一つには、財政の制約において、現在の
のような手厚い国民皆保険でなくなった時。言い換えれば、米国のようにお金次第で治療が変わ
ってしまう社会、盲腸炎の手術で破産する人が出てくるような社会が到来した時が治療格差社会
の一つ目です。この件は、オオカミ少年のように、そういう日が来るかもしれませんが、日本国
内の金利もさほど高くない現在、こういったことは起きないかもしれません。
もう一つ、私が本書で訴えたい治療格差は、考え方の違いによる治療格差です。つまり、医師
などの医療者に患者が思っていることをしっかりと伝えることができるかどうかで受けられる医療
が異なってくるということなのです。



「医師などの医療者に、患者が
思っていることを伝えることができ
るかどうかで受けられる医療が
異なってくる」

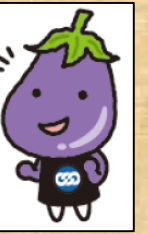
治療格差社会 ドラッカーに学ぶ、後悔し
ない患者学（講談社+α新書）より抜粋

日本労働組合総連合会
教えて！医療の摩訶不思議！診療明細書って、なんだろう？





医療がわかりづらい理由！ まとめ



医療がわかりづらいのは・・・

①関係者が多いから！



②透明性や分析が十分でなかったから！



③お医者さんにおまかせ、という患者側の姿勢にも原因が！